

# 庭木たちのささやき

秋山喜文

わが家の庭木たちは  
静かにささやきをかわしている  
私はいつも耳を傾けているが  
何も聞えない

昨夜風がとても強く吹き  
数本の大きな枝が折れた  
これは大変  
あとどうするのか  
どうなるのか

真剣に取り組まねばならない

今朝は静かな朝だ

庭木はまだ眠っているのか

何しろ昨夜はひどい嵐だったのだが

彼らには気持ちの乱れはなく

折れた大きな枝の跡をどうするか

真剣にかつ静かに

ささやきあっているのだろうか

それは私が取り組まねばならないこと

庭木に責任はなく

対策もとることはできない

じっと成り行きを見ているほかないのだ

そういう庭木たちの想いを感じながら

はてどうしたものか

折れた大きな枝の跡を見上げながら

私は立ちつくしている

私を取り組まねばならないのだ

庭木たちの想いを感じながら